

社会福祉法人淳風会

お世話になっております。発災後五年も経過しているにもかかわらず私どもの活動に対し、継続貴重な寄附を頂き厚く御礼申し上げます。

福島県南相馬市では、本年7月に小高区を中心に出されていた避難指示解除が行われ、震災前12800人いた住民の6%に相当する820人強がふるさと小高に帰還しましたが、65歳以上が60%で高齢者だけが帰ってきた状況です。

一方避難指示解除で、列車の原町-小高間が再開通し、年末には小高-仙台間の営業運転も再開される予定ですが、東京方面への列車は原発近くを通るため不通が続いています。学校も来年4月再開予定ですが、介護施設、新聞配達、薬局、スーパー等いまだ無くインフラ整備促進が望まれております。一方仮設住宅は30年3月で終了とのことになり、当団体は現在仮設住宅で住民を支え、避難指示解除された小高では、帰還者が1日も早く日常生活を取り戻したり、いつでも人が集い話ができる地域コミュニティ再生場所としてのサロン活動と特に若い世代が定住したり、街の賑わいを取り戻す活動をおこなっております。震災と原発事故後5年4ヶ月を経て私どもはふるさとへ帰還しふるさと再生の一步を踏み出しました。

紅葉も終盤を迎え、寒さも日1日1日厳しくなって参ります。どうぞ皆様健康に留意されご自愛下さい。寄附の御礼と南相馬の近況まで！

特定非営利活動法人つながっぺ南相馬
理事長 今野由喜